

東京バス株式会社 会社概要



東京バスグループ



東京バス株式会社

代表取締役 西村 晴成

(本社)東京都北区滝野川5-53-1



「貸切バス事業者安全性評価認定制度」の3つ星認定を受けています

(営業所)足立区、沖縄県豊見城市、神戸市(タクシー)

社員数;210名

一般貸切旅客自動車運送事業、一般乗合旅客自動車運送事業、一般乗用旅客自動車運送事業

グループ事業概要

○バス事業

貸切バス、乗合バス(都市間高速バス、空港リムジンバス)、特定輸送

…全国約400輛

○タクシー事業

タクシー(大阪・京都・神戸・名古屋・福井)

…全国約500輛

○その他 旅行業、観光船事業、車両整備業、飲食業 等



沖縄営業所における事業につきまして

東京バス株式会社 沖縄営業所

豊見城市座安324-1

運転士 41人、バスガイド 11人、事務職員約12名

- ・貸切バス 22輛
- ・乗合バス 17輛
- ・特定輸送 1輛
- ・乗用(都市型ハイヤー) 10輛



- 2020年 営業所開設(貸切バス事業)
路線バス開設「ウミカジライナー、ハーレーエクスプレス」
- 2022年 都市型ハイヤー事業開始
新路線「琉球ホテルエアポートリムジン」運行開始
- 2023年 新路線「瀬長島ホテルエアポートリムジン」運行開始
北部観光バス(名護市)子会社化
- 2024年 21条実証運行「那覇クルーズターミナルシャトルバス」
21条実証運行「北谷直行シャトルバス」



沖縄県を訪れる観光客は近年着実に増加し、コロナ前の高い水準近くまで回復
今後も**新たなテーマパークやリゾートホテルの建設も予定され**、ますます注目されるエリアに

個人客主要な移動手段であるレンタカーの台数も回復し渋滞が目立ってきている一方、運転消極的な若い世代の方やインバウンド向けとなる公共交通を利用した**観光客の二次交通が課題**です

団体客から要望される貸切バスはシーズンによって**需要の繁閑が大きく**、手配ができなくなるほどの時期がある一方、ほとんど稼働しない時期もあります(修学旅行等については需要の分散化を要望しています)

⇒バス事業を通じて沖縄県の持続的な観光振興の一助となるべく事業をおこなっています

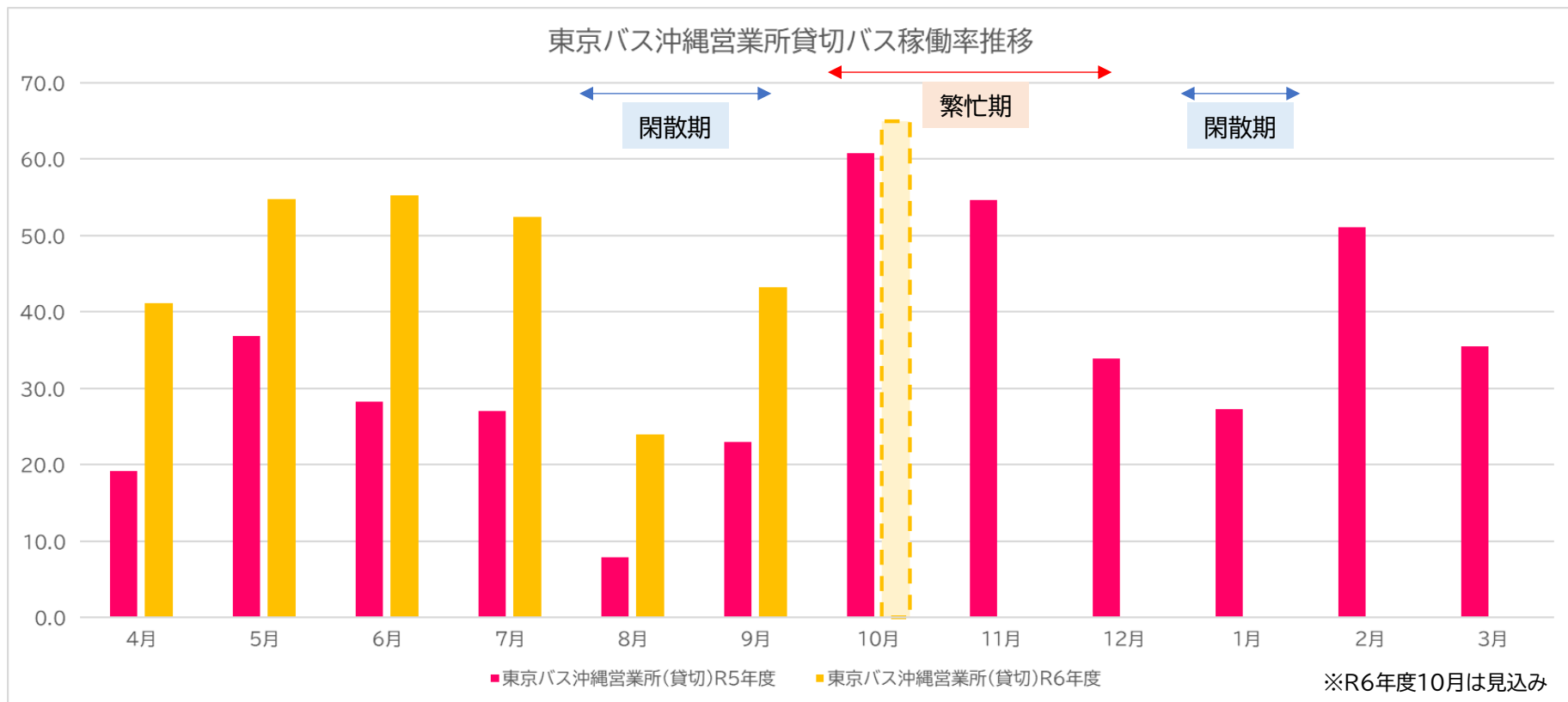
沖縄営業所における貸切バス稼働率の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R5年度貸切バス稼働率	19.2	36.8	28.3	27.0	7.9	23.0	60.8	54.7	33.9	27.3	51.1	35.5
R6年度貸切バス稼働率	41.2	54.8	55.3	52.5	24.0	43.2	65.0					

閑散期

繁忙期

※R6年度10月は見込み



繁忙期は10～11月ごろ、閑散期は8～9月と1月。稼働率の差は2倍以上にも

⇒個人客が多く航空運賃やホテルが高くなる夏休みシーズンは、極端に貸切バスの稼働が落ちる状況で、修学旅行等団体客のピークは9月末～12月中旬まで

バス事業者としての日本版ライドシェアへの参入につきまして

○バス業界も深刻な**運転士不足**の状況です

○ただし、年間を通じて繁閑の差がある(地域差あり)**貸切バス事業**においては、**大型二種免許を持つ運転士**だけでなく**バスガイド**、**事務職員**等の空いた期間(時間)の**閑散期対策**として活用したい

○アルコールチェック、健康管理等を行う点呼等の**運行管理機能**はそのまま活用でき、バス運転士に対する**乗務員教育**も普段から行っています
(ただし、二種免許保有者以外の教習は必要)

○都市型ハイヤーの事業も同時に行っている営業所では**緑ナンバー車**の有効活用となることが見込まれます
(都市型ハイヤーでは2時間以上という制約もあり個人の利用が伸びていない)



現在保有する資源を有効に活用でき、**観光二次交通の課題解決**や**地域の公共交通を補完する**ものであれば、取り組みたいと考えています
ただし、前提となる**地域の必要とされる場所や時間(需要)**とバス事業者の**閑散期で対応可能な場所や時間(供給)**がマッチするかどうかは課題